



新型コロナウイルス(Novel Coronavirus : nCoV) 関連肺炎(武漢肺炎)について

(続 報)



医療法人社団 秀皓会 理事長 船本 全信

前回から引き続き、武漢肺炎についてお話したいと思います。全世界でパンデミック状態となっていますが、幸い日本では比較的発症が抑えられているように思います。やはり、手洗い・ウガイ・マスクの徹底、欧米の様にハグやキスと言った濃厚接触が少なく、自宅に入る際に「靴を脱ぐ」と言った習慣が奏効しているのだと思います。一般的な風邪の原因ウイルスであるコロナウイルスは、1年中感染のリスクがあるウイルスです。今回の武漢肺炎ウイルスはその変異型ではありますが、同様に1年を通して感染するリスクを想定しておかなくてはなりません。中国武漢での初報告から約2ヶ月余りが経ち、色々と判明したことが有りますので、コメントしたいと思います。

①感染様式:飛沫(しぶき)と接触感染が殆どです。咳やくしゃみと共に飛び出す、飛沫の大きな粒子は2m以内に着地しますが、微粒子のミスト状になったウイルスは長時間漂うため危険です。ですので、換気が悪く、人が密に集まって過ごすような空間(密閉空間・密集場所・密接距離)には避けてください。「鼻と顎を覆う」正しく装着したマスクは有効です。電車・バス・新幹線は、換気しているため比較的安全ですが、手すりや吊革などにはご注意ください。

②ウイルスの生存期間と消毒:ステンレスやプラスチックなどの乾燥した表面では、48-72時間生存しています。外出先ではあちこち触らないようにしてください。湿度には弱そうですので、加湿はしっかりとしましょう。アルコールも品薄になってきております。そこで、消毒のため、100倍希釈したキッオン〇イターをお勧めします。ペットボトル500mlにキャップ1杯(5ml)入れて攪拌します。それを遮光のスプレーボトルに入れて手・衣服・スマートフォン・ハンドル・吊革などの消毒にお役立てください。手洗い前に、手にシュッシュュッとしてもみこめば、ウイルス除去効果高まります！手荒れの予防のためにも、後でワセリンをしっかりと！

③感染のピーク:日本では、医療崩壊を防ぐため、感染のピークを出来るだけ低く、そして遅らせる事を目的としています。海外も、遅ればせながら、日本方式に倣った対応を取りはじめています。日本ではまだピークが来ていません。次第に、1日の感染「確認者」数は増え始め、感染爆発が危惧されます。兵庫県でも120名以上が感染しています。ここで言う感染「確認者」数とは、有症状患者とその濃厚接触者でPCR検査陽性の方々のことを指します。最近、感染経路不明の孤発例としての有症状患者が出現しており、問題となって来ています。原因として、手すりや吊革・押しボタンなどに付着しているウイルスの「置き土産」の可能性もあり得ます。また、無症状ウイルスキャリア(相当数います)は、医療機関を訪れることなく自然に治癒していくのですが、感染源となる存在です。兎に角、不要不急の外出を控え、自己防衛が大切です。「自粛疲れ」と言わず、一緒に頑張りましょう！

④感染後の経過:国内で発症した事例又はチャーター便で帰国された方で、症状があつて入院した1693名のうち424名、クルーズ船から下船された方で陽性であった方712名のうち601名の合計2400人余りのうち1000名を超える方(約50%)が退院しています(3月29日12時時点)。つまり、決して治らない疾患ではありません。

(裏面へ続く→)

⑤感染が疑われる場合とは？—保健所「帰国者・接触者相談センター」に相談する時

*通常の風邪やインフルエンザと異なり、4日以上37.5度の発熱が続く。強いだるさ・呼吸困難を呈する場合。—「軽歩行」すら、辛いレベルなら、4日待たないでください！

*高齢者や基礎疾患のある方で、37.5度以上の発熱が2日持続・呼吸困難を呈する場合。

⑥重篤化しやすいのか？：へビースモーカーで肺気腫をお持ちの「志村けん」さんが、先日武漢肺炎のため亡くなりました。ご冥福をお祈りします。この肺炎は、肺炎球菌の様に限局性ではなく、両肺に広がるスリガラス陰影の間質性肺炎という特殊な画像所見です。この様に、80歳以上の高齢者や基礎疾患のある方の死亡率は高いですが、約8割は軽症です。日本では、本当に高度治療が必要な重症患者が、然るべき手厚い医療を受けられるように配慮しています。また、ガンや虫垂炎などの疾患で入院加療を必要とする患者を圧排しないように、きちんと「交通整理」をして医療体制を維持しなくてはなりません。検査をやたらと勧めるメディアがありますが、PCR検査は感度が低く当てにならず、不安ばかりが募ります。ただ、重症例での検査特異度は高いので、検査陽性であった場合、蔓延を防ぐために濃厚接触者を追跡していく根拠となります。私の感覚的に、このウィルス単体は弱いウィルスですが、ある程度体内でゆっくり増殖し相当数に達したら、強い毒性を発揮するように思います。ですので、濃厚なウィルスを吸入する環境に居て、ウガイ等で洗い流せず定着したウィルスが、基礎疾患等の免疫力低下で増殖し、高ウィルス状態となり、あるきっかけ(注:サイトカインストームという免疫過剰状態)で重症化(肺炎)すると考えます。改めて言います。高齢者や持病をお持ちの方は、ご家族含め、不要不急の外出は出来るだけ控えてください。

⑦検査法・ワクチン・治療について:現在のところ、有効な検査法・ワクチン・治療はありません。重症肺炎で酸素吸入や人工呼吸器となった場合には、他の原因で起きる間質性肺炎と同様、ステロイドの全身投与や抗生剤を投与しつつ循環動態を安定化させ、「自身の抵抗力での」回復を待ちます。さらに、状況に応じて、現在臨床で使用可能な喘息用吸入ステロイド・肺炎治療薬・抗インフルエンザ薬(アビガン)・抗エイズ薬(カレトラ)等が試験的に投与され臨床効果を蓄積しています。本当に有効なワクチンや治療薬は、1年以上も先になりますが、それまではしっかりと自己防衛し、医療崩壊を防ぎつつ、朗報を待ちましょう。

太古の昔から、人類は感染症と戦ってきて勝利してきました。日本を始め、海外でも臨床データの積み重ねから、希望の光が見えつつあります。「人類の力と叡智をなめるなよ、武漢ウィルス!」の気持ちで、毎日頑張りましょう。

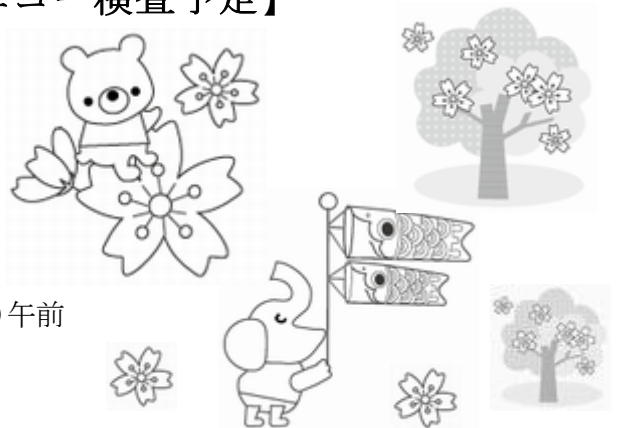
【ふなもとクリニック エコー検査予定】

4月の予定

井上先生	4(土)午前・11(土)午後・18(土)午前
杉山先生	3(金)・10(金)・17(金)・24(金)
池田先生	14(火)・28(火)
山本先生	9(木)午前・25(土)午前/午後

5月の予定

井上先生	2(土)午前/午後・9(土)午前・23(土)午前
杉山先生	8(金)・15(金)・22(金)・29(金)
池田先生	12(火)・26(火)
山本先生	14(木)午前/午後・23(土)午後



◆ふなもとクリニック 〒663-8165 西宮市甲子園浦風町7-13 tel.0798-81-1192

◆ふじもとクリニック 〒663-8165 西宮市久保町7-35 レインボー酒蔵通1F tel.0798-42-7692

◆居宅介護支援事業所
デイサービスセンター

ふくろう

〒663-8165 西宮市甲子園浦風町6-20
tel.0798-40-9500(代表) 0798-49-7670(デイ直通)